

山口情報芸術センター[YCAM] 2010年度開催事業

情報環境の現在と未来の可能性を思考する。
 科学とアートの対話は、新たなプラットフォームの創造へ。



山口情報芸術センター[YCAM]は、2003年11月の開館以来、メディアテクノロジーと身体をめぐる新しい芸術表現を追求しています。制作と発信、コラボレーションを実現する創造的な文化環境として、YCAMでは、独自のプロダクションを重要視し、メディアアート作品の展示、パフォーマンス作品の公演、サウンドイベント、ワークショップ、映画上映などを開催しています。メディアテクノロジーの進歩に伴い、変容する社会と文化を見据え、人間の感性や身体感覚を拓くメディアアート。YCAMでは、その可能性を「アート+パフォーマンス+教育普及」の領域から見据えた新しい芸術創造を实践し、アートと社会の新鮮な関係を創り出す方法を探求しています。

2010年度は、情報化社会における私たちを取り巻く様々な環境への視点を提示し、新しいプラットフォームの現在と未来を思考していきます。オリジナル作品の制作を通じて、情報環境が見出すアートの創造性を探求するとともに、アートセンターが開示する文化・社会への可能性を試行します。地域、そして世界へと開かれた新たな情報芸術の創造と発信の拠点として、その価値をみなさまと共有していけるよう、活動をおこないます。

※ イベント情報は、変更することがあります。最新情報は、YCAMのwebサイトをご覧ください。
 ※ 各イベントの詳細情報については、開催2～3カ月前に、別途プレスリリースを発行いたします。

2010年度事業予定一覧 **A** アート / **P** パフォーマンス / **E** 教育普及

2010年

- | | |
|-----|--|
| 開催中 | A 渋谷慶一郎+evala「for maria installation version」(～6月) |
| 3月 | A 三上晴子「Desire of Codes 欲望のコード」(～6月) 滞在制作 |
| 4月 | P 「追悼 ピナ・バウシュ
映像で見る世界のダンス スペシャルトーク+ドキュメンタリー上映会」 |
| | E meet the artist 2010「自分のメディアを創る」(～2011年3月、通年) |
| 5月 | P 快快 (faifai)「Y時のはなし」+contact Gonzo パフォーマンス |
| 6月 | E 「YCAMメディア・キッチン 一知的好奇心を満たす連続レクチャー vol.1」 |
| | P ホフェッシュ・シクター「Political Mother」 |
| 8月 | P おやかで楽しむ演劇&ダンス2010 |
| | A 中谷美二子+高谷史郎 新作プロジェクト(～10月) 滞在制作 |
| | E 夏休み YCAM 探検クルーズ |
| | E 「surround garden ー響きあう音とカラダ」 |
| 10月 | P 中村思恵×首藤康之 ダンス公演 |
| | E 「YCAMメディア・キッチン 一知的好奇心を満たす連続レクチャー vol.2」 |
| 11月 | A カールステン・ニコライ+マルコ・ベリハン 新作インスタレーション展(～2011年2月) 滞在制作 |

2011年

- | | |
|----|--|
| 1月 | P ビデオダンス上映: 白井 剛 新作 滞在制作 |
| | E 「YCAMメディア・キッチン 一知的好奇心を満たす連続レクチャー vol.3」 |
| 2月 | P 梅田宏明 新作公演 滞在制作 |
| 3月 | P チェルフィッチュ 新作演劇公演 |

※ シネマ情報については、11ページ目をご覧ください。

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ 広報担当: 廣田
 〒753-0075 山口県山口市巾着町7-7 TEL:083-901-2222 FAX:083-901-2216
 e-mail:information@ycam.jp http://www.ycam.jp/

アート、科学、情報技術の成果を取り入れた横断的なクリエイションを目指し、複製技術からメディアテクノロジーまでの新しいアートの領域を対象に、主に委嘱作品による新作プロダクションの制作、発表をおこなっています。視覚表現に留まらず、サウンドアートやソフトウェアアートにも重点をおき、YCAMの音響・映像環境でしか体験できないハイクオリティのサウンドアートやライブコンサートも展開しています。

今年度も、滞在制作によるYCAMオリジナル作品を中心に、大規模な展覧会を実施。情報化社会における私たちの知覚や、情報生態系、環境といったテーマを取り上げ、独自のアプローチを試みます。私たちを取り巻く環境からアートを見据えることで、新たなプラットフォームを模索するとともに、未来に向けた知覚や創造性への思考、現在におけるアートと科学の新しい実践をおこないます。

滞在制作 企画展

三上晴子「Desire of Codes | 欲望のコード」

2010年3月20日(土) - 6月6日(日) 10:00 - 19:00

会場: スタジオA、ホワイエ、スタジオB 入場無料

監視技術とネットワーク社会の上に生み出される欲望
滞在制作による新作と関連展示2作品を含む大規模な展覧会

80年代から「情報社会と身体」をテーマに活動をおこない、90年代以降には、コミュニケーション・テクノロジーと情報生態系の相互作用の中に、独自の芸術表現を見出してきたアーティスト、三上晴子。観客の存在に対して一斉に蠢く大量のストラクチャーとロボットサーチャーム、その監視映像のデータベースと連動した巨大な複眼スクリーンによって展開する新作は、情報化された環境と知覚に生きる、私たちの新たな欲望の所在を問いかけます。

また、本展のテーマである「監視社会と欲望」について、脳科学と複雑系からのアプローチを試みる池上高志の新作インスタレーションを展示。さらに、2004年にYCAMで発表後、世界8カ国 / 12ヵ所を巡回した、三上晴子+市川創太による「gravicells - 重力と抵抗」改訂新バージョンを同時公開します。現在の情報技術とインタラクションが生み出す時間/空間の変容を、存分に体験できる展覧会です。

展示作品

三上晴子「Desire of Codes」(新作 / YCAM委嘱作品)

関連展示

池上高志「MTM [Mind-Time-Machine]」(新作 / YCAM委嘱作品)

三上晴子+市川創太「gravicells - 重力と抵抗」(改訂新バージョン / YCAM委嘱作品)

関連イベント

オープニング・サウンドライブ「fmtm」

3月20日(土) 18:00-18:40

出演: 渋谷慶一郎 (ATAK)、evala (ATAK) 会場: ホワイエ 入場無料

アーティストトーク

3月21日(日) 14:00-16:00

ゲスト: 三上晴子、池上高志ほか モデレーター: 阿部一直 (YCAM) 会場: ホワイエ 入場無料

オリジナルワークショップ「コンガラカメラ」

5月22日(土)、23日(日) 13:00-17:00 [各日完結 / 全2回]

講師: YCAM教育普及スタッフ 会場: 創作学習室 対象: 小学4年生以上 定員: 各回9名 料金: 500円 ※要申込
メディアが作り出す複数の視点の存在を体験するワークショップ。身体にくくり付けたカメラを用いて動画を撮影し、同時に映像を見ることを参加者全員で繰り返します。客観的な単一の視点ではなく、複数の映像と、その関係性から世界を把握する経験を通じ、情報化社会における記録や監視のテーマに迫ります。

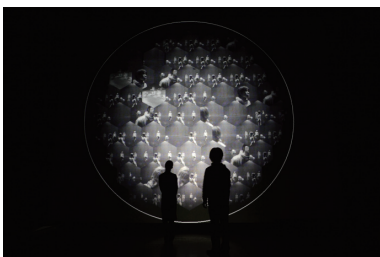
ギャラリーツアー

3月22日(月・祝)、27日(土)、28日(日) / 4月10日(土)、11日(日)、17日(土)、18日(日)

5月8日(土)、9日(日)、16日(日)、29日(土)、30日(日) / 6月5日(土) 各回14:00-15:00 [全13回]

講師: YCAM教育普及スタッフ 会場: ホワイエ集合 対象: 小学生以上

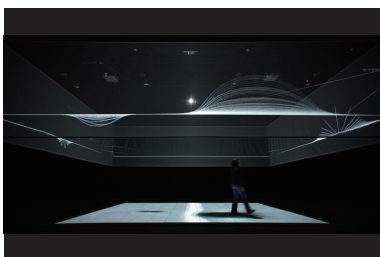
定員: 各回15名 参加無料 ※各日開催までにYCAM1Fチケットインフォメーションまでお申し込みください。



参考写真: 三上晴子 新作インスタレーション「Desire of Codes」



参考写真: 池上高志 新作インスタレーション「MTM [Mind-Time-Machine]」



三上晴子+市川創太「gravicells - 重力と抵抗」(YCAM, 2010)

YCAMサウンドアートシリーズ sound tectonics installation #2 渋谷慶一郎+evala「for maria installation version」



photo: Kenshu Shintsubo

2009年10月1日(木) - 2010年6月6日(日) 10:00 - 20:00

会場: 中庭 入場無料

中庭に響くサウンドインスタレーション YCAMでしか味わえないピアノサウンドによる音響空間

館内の憩いの場として親しまれる中庭で、メディアテクノロジーを駆使したサウンドアートを紹介するシリーズ。今回は、音楽家の渋谷慶一郎によって作曲・演奏されたピアノソロによるCDアルバム「ATAK015 for maria」(発売中)の14曲のサウンドデータを素材とし、サウンドアーティストのevalaとともにコンピュータプログラムによって、空間に再構成したインスタレーションを展開。コンピュータの自動生成により、音そのもの、さらにその層構造や音響的な位置関係が変化し、観客は空間に漂うピアノの音色を体感することができます。多様な音響表現を実現する本作を通じ、YCAMの活動の特徴でもある、サウンドアートの魅力を紹介します。

インターエンヴァイロメント

滞在制作 企画展

中谷美二子 + 高谷史郎 新作プロジェクト「INTER-ENVIRONMENT (仮)」



参考写真: 中谷美二子「霧の彫刻」#47773 Pavilion
 (大阪万国博覧会、ヘプシ館、1970)

2010年8月7日(土) - 10月17日(日) 10:00 - 19:00

会場: ホワイエ、中庭ほか 入場無料

アート、科学、情報技術の対話 新たな環境創造を思考する展覧会

1970年の大阪万博から40年。それは物質的な生産性から、情報を資本とする社会、文化、世界への転換期と捉えることもできます。本展では、大阪万博ヘプシ館におけるアメリカの実験グループ、E.A.T. (Experiments in Art and Technology) の活動と、その先見的なプロジェクトの思想や表現を再考・再評価し、情報社会を見据えたアートと科学との対話を実践します。

滞在制作による大規模な新作では、中谷美二子 (E.A.T.所属) による「霧の彫刻」、高谷史郎による光のインスタレーション、softpadによるサウンド表現が、YCAMの建築空間を舞台にコラボレーションを展開。環境センシング技術を多用し、ネットワーク技術によって館内外の自然の変容を取り込みながら全体で運動を続ける本作は、現在から未来に向けた新たな環境創造の視点を提示します。それは、環境にアートの本質を見出し、アートと科学の先進的な実験をおこなったE.A.T.に、万博以降の世代のアーティストが応答/挑戦する試みともいえるでしょう。情報化社会における環境を見据え、物質、そしてデータや情報といった非物質とが交信する中に見出される私たちの知覚や創造性について、新たな未来への思考を築きます。

(滞在制作: 7月下旬 - 8月上旬まで)



参考写真: 中谷美二子、高谷史郎との共作「IRIS」
 (ヴァレンシア・ビエンナーレ、スペイン、2001)

関連イベント

オープニング・サウンドライブ

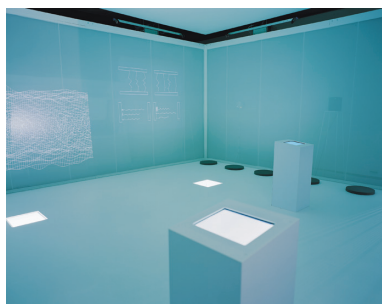
会場: ホワイエ 入場無料

大阪万博以後の1974年に、E.A.T.と、音楽家デイヴィッド・テュードア、そして中谷美二子によって構想され、未完に終わったプロジェクト「Island Eye Island Ear」へのオマージュとなるサウンドパフォーマンス。スウェーデンのクナーベルシェア島という孤島全体の環境音をフィールドレコーディングし、自然や生態系とともに音響環境と人間の知覚を変化させていく当時の構想を、新作インスタレーションの中で展開。高谷史郎、softpadらが、クリティカルな視点からYCAMに新たな音響環境を提示します。

※ このほか、アーティストトークやワークショップ、ギャラリーツアーを開催予定。

「polar II: 極地としての環境観測 (仮)」

滞在制作 企画展



参考写真: 「polar I」(ヒルサイドプラザ、東京、2000)

11月13日(土) - 2011年2月6日(日) 10:00 - 19:00

会場: スタジオA 入場無料

10年単位でおこなうアートからの環境観測

情報ネットワークとしての地球。その極地とは…。

アーティストの視点と立場から、10年単位という長期スパンで、地球環境と情報環境の定点観測をおこなう「polar」プロジェクト。2000年に東京で開催された、前作「polar I」では、ネットワーク上に独自の検索エンジンを開発し、環境としての地球の存在を様々な情報から観測。その更新のプロセスを、映像とサウンドのインスタレーションによって表現しました。

それから10年を経た現在、情報技術は大幅に発展し、それに伴い、人間の感覚や知覚も、圧倒的な変化を重ねています。私たちは、地球上に到達不可能な場所など、もはや存在しないかのように感じ、その一方では、目には見えない情報やデータによる広大な世界の存在に直面しています。本プロジェクトでは、2010年の現代における多様な環境を探索する独自のプラットフォームを提案。観客が、情報探索を通じて主体的に見出す、未知なる極地(polar)と、その意味とは…?世界の第一線で活躍する二人のアーティストが再び集結し、現在における地球環境と情報環境、そして、それらを私たち自らがリサーチする方法を提示します。

(滞在制作: 10月下旬-11月上旬)

関連イベント

オープニング・サウンドライブ

11月上旬予定

会場: スタジオB 料金: 前売 一般2,000円 / any会員・特別割引1,700円 当日 2,500円

チケット発売開始: 9月18日(土)

本展の作家、カールステン・ニコライ+マルコ・ペリハンによるサウンドライブを開催。

※ このほか、アーティストトークやワークショップ、ギャラリートัวร์を開催予定。

PERFORMING ARTS

パフォーマンスアート

YCAMのパフォーミングアーツでは、演劇やダンスはもちろん、既存のジャンルを越えた身体表現の現在を幅広く紹介しています。映像や音響、照明、それらを制御するコンピュータプログラム等、メディアテクノロジーに特化した人材・設備を活かした、ここでしか観ることのできない質の高い舞台芸術を探索しています。

今年度は、「映像」に焦点を当て、映像によって発見される身体、そして、身体表現から映像表現の更なる可能性を探り、映像上映やビデオダンスの制作を実施します。さらに、年間のメイン企画となる滞在制作による新作発表では、振付だけでなく、舞台全体をデザインするアーティスト、梅田宏明が登場。YCAMの技術と梅田のコンセプトが出会い、世界各地で上演を可能にする「モビリティ」と新たなメディア・パフォーマンスを同時に追求する創作を展開します。

映像上映

「追悼 ピナ・バウシュ 映像で見る世界のダンス スペシャルトーク+ドキュメンタリー上映会」



ピナ・バウシュ
photo: Iijima Atsushi

2010年4月17日(土) 13:30 - 16:40 終了予定

トークゲスト: マティアス・シュミーゲルト (ヴッパタール舞踊団、元ゼネラル・マネージャー)

会場: スタジオC 料金: 1,000円 / any会員・特別割引800円 (通し券のみ) ※要申込 (4月11日まで)

貴重な映像とトークで知る、ピナ・バウシュの世界
パフォーマンスアーツの歴史と魅力を再発見する特別企画

2009年6月に急逝した世界的振付家、ピナ・バウシュの活動を、ドキュメンタリー映像3作品とトークイベントで紹介する特別企画。ダンス、演劇、美術といったジャンルを超え、1970年代から現在、そして後生にまで多大な影響を与え続ける彼女の世界を、貴重な映像と、16年に亘ってその活動を支え続けた元マネージャーによるトークとともに紹介します。振付家として、一人の人間として、どんな人をも惹きつけて止まなかったピナ・バウシュの姿とともに、モダンからコンテンポラリーへと移行するパフォーマンスアーツの歴史を振り返りながら、映像として記録される身体の可能性を考えます。

関連上映

山口市立中央図書館+YCAM共同上映 「そして船は行く」(1983年/監督: フェデリコ・フェリーニ)

4月18日(日) 13:30、19日(月) 14:00

会場: スタジオC 入場無料

パフォーマンス公演

YCAMパフォーマンス・ラウンジ#5

快快 (faifai) 「Y時のはなし」+ contact Gonzo パフォーマンス



参考写真: 快快「R時のはなし」(2007)
撮影: 加藤和也

5月15日(土) 19:00 開演、16日(日) 14:00 開演

※開演の30分前より、contact Gonzoによるパフォーマンスをおこないます。

会場: スタジオB、ホワイエほか

料金: 前売 一般2,000円 / any会員・特別割引1,700円 / 25歳以下1,500円 当日 2,500円

[全席自由 / contact Gonzo パフォーマンスは無料] チケット発売開始: 4月3日(土)

YCAMの舞台公演への、入り口企画

演劇...? ダンス...? 新しい表現を楽しく発見する

現在、登場しつつある新しい身体表現を広く紹介する公演シリーズ。YCAMでのパフォーマンスアーツ鑑賞のきっかけとして、出演者を間近に感じながら、気軽に楽しんでいただける企画です。第5回目となる今回は、若者の今を切り取る感覚を、ポップな演劇やダンス、映像、ケーティングなど、独自のメディアを通して発信するカンパニー「快快 (faifai)」が登場。学童保育を舞台に、人形劇やファンタジックな仕掛けを満載し、子どもたちの世界を描きます。

さらに、「快快」公演前には、美術館やギャラリーで即興的なパフォーマンスを突如として繰り広げ、独特な身体的コミュニケーションを試みる「contact Gonzo」がYCAMに出没。ダンス...? 格闘技...? そこから生まれる迫力あふれるパフォーマンスをご紹介します。

※公演後には、気軽に立ち寄れるカフェ・スペース「アフターアワーカフェ」がオープン。

スペシャルイベントとして、15日(土)は「Y時のはなし」の音楽を担当する蓮沼執太によるラップトップ・ライブ、16日(日)は快快メンバーと本作の舞台美術や小道具を体験できる「快快と遊ぼう!!」を開催します。



contact Gonzo
photo: Toda Yoichi

ダンス公演 (海外招聘)

ホフェッシュ・シェクター「Political Mother」



photo: Ben Rudick



ホフェッシュ・シェクター「Political Mother」
photo: Tom Medwell

6月20日(日) 14:00 開演

会場: スタジオA

料金: 前売 一般2,800円 / any会員・特別割引2,500円 / 25歳以下2,000円 当日 3,300円 [全席自由]

チケット発売開始: 5月8日(土)

英国発、世界が注目する急成長ダンスカンパニーが上陸

エネルギッシュなダンス、響き渡るパーカッションに目が離せない

世界的に突出した新進アーティストを招聘し、舞台表現の次世代を見通す公演シリーズ。今年は、イスラエルのバットシェバ舞踊団を経て渡英、近年には著名劇場からの作品委嘱や、振付家賞を受けるなど、国際的に高く評価されはじめた振付家、ホフェッシュ・シェクターを、日本で初紹介します。ダンス界のみならず、人気テレビドラマの振付を手がけるなど、幅広い注目を集めているシェクター。最新作となる本作では、高いテンションを保った驚きの群舞や、パーカッション演奏によるグルーブ感などの魅惑的な演出とともに、コンテンポラリーダンスの新たな価値観を描き出します。

※ 公演後には、アーティストが作品について語るほか、観客の質問に答える「ポストトーク」も開催。

関連イベント

ミニコンサート+トーク

6月19日(土)

会場: ホワイエ 定員: 80名 入場無料

ドラマーとしても活動の経験があり、振付だけでなく、作品における作曲にも携わるホフェッシュ・シェクターの魅力を紹介するコンサートを実施。本公演のツアーメンバーであるミュージシャンの生演奏と、振付家によるトークもあわせておこないます。

子ども向け公演 (夏休み特別企画)

おやこで楽しむ演劇 & ダンス2010

「赤い鼻」「ダルレの話」とも

会場: スタジオA 料金: 前売 一般2,000円 / any会員・特別割引1,700円 / 18歳以下1,000円 当日 2,500円
2公演セット券(前売のみ) 一般3,500円 / 18歳以下1,500円 [全席自由]

チケット発売開始: 5月29日(土)



「赤い鼻」

ダンス+演劇公演 「赤い鼻」

7月31日(土) 14:00 開演

対象: 2歳以上(未就学児~小学3年生は保護者同伴)

2歳から鑑賞OK!初めての舞台鑑賞はYCAMで。

未就学児から鑑賞でき、親子で楽しめるダンス+演劇作品。イタリアで生まれた本作は、セリフや難解なストーリーではなく、音楽にあわせて繰り広げられるダンスと、次々と展開する様々な仕掛けで、舞台公演の楽しさをダイレクトに伝えます。コンテンポラリーダンス、演劇のようなパフォーマンス、そして小さな箱からテンポよく飛び出すカラフルな小道具やセットは、子どもから大人まで、すべての観客を魅了します。



「ダルレの話」

演劇公演 「ダルレの話」

8月1日(日) 14:00 開演

対象: 6歳以上(6歳~小学3年生は保護者同伴)

家族の絆や人間愛を確かめる、大切なひとときを。

1950年代に起こった朝鮮戦争を題材にした本作は、戦争そのものよりも、様々な苦しみを乗り越えようとするひたむきな家族の姿を描いた物語です。韓国の伝統音楽と、艶やかな舞台セット、そして人形と一緒に演じられるユニークで生き生きとした演技は、子どもから大人まで飽きることなく楽しめます。人間愛や家族愛の偉大さ、そして大切さを感じることができる話題の作品です。



振付家・ダンサー 中村恩恵

ダンサー 首藤康之

©MITSUO

10月3日(日) 14:00 開演

会場: スタジオA

料金: 前売 一般3,000円 / any会員・特別割引2,700円 / 25歳以下2,000円 当日 3,500円 [全席自由]

チケット発売開始: 7月3日(土)

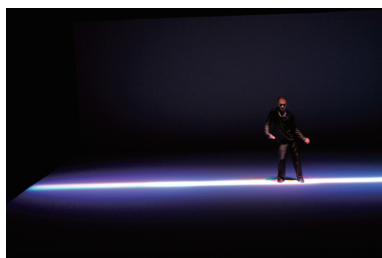
コンテンポラリーダンスとは? その魅力とは?

技術、表現ともに、国内外で評価されるダンサーに、そのヒントを見つける。

身体表現の高い技術と豊かな表現手法を特徴とする中村恩恵(ダンサー・振付家)と首藤康之(ダンサー)によるダンス公演。クラシックバレエを基礎に、イリ・キリアン、モーリス・ベジャールをはじめとする世界的振付家のもとで、それぞれにキャリアを積み、そのテクニックを独自の表現へと飛躍させる二人。その作品からは、ダンスそのものの美しさや、表現の多様性、可能性を感じることができます。ダンスや身体表現を学んだり、経験したりすることの創造性、そしてダンス表現における個性や迫力、リアリティとはどういったものなのか…。一見、難解だと思われがちなコンテンポラリーダンスについて、その魅力を幅広い世代に紹介する企画です。

※ 関連イベントとして、出演者によるトークを開催予定。

滞在制作 ダンス公演

参考写真: 「1. centrifugal」振付: 梅田宏明 (2009)
photo: Shin Yamagata参考写真: 「Haptic」振付: 梅田宏明 (2008)
photo: Shin Yamagata

梅田宏明 新作公演

2011年2月19日(土) 19:00 開演、20日(日) 14:00 開演

料金: 前売 一般2,800円 / any会員・特別割引2,500円 / 25歳以下2,000円 当日 3,300円 [全席自由]

チケット発売: 12月4日(土)

アーティスト×YCAMによる新作ダンス公演の制作/発表

ダンスとテクノロジーが舞台空間をデザインする

YCAM パフォーミングアーツでの滞在制作に挑むのは、ダンスのみならず、音響、照明、映像を自らデザインする振付家・アーティストの梅田宏明。YCAMの技術スタッフとともに、アイデアを発展させ、演出から振付のすべてを、YCAMで実験し、新作を制作します。今回は、ヨーロッパを拠点に、世界を駆け巡る梅田の活動スタイルを主軸に、舞台作品の機動性(mobility)を検討し、メディアによる可搬性、そして環境とともに変化するパフォーミングアーツの創造性を探求していきます。舞台公演でありながらも、空間、身体、そしてインスタレーションや映像作品の要素までもを総合的に捉えた作品。それは、振付家やダンサー、エンジニアなど、あらゆる存在をも刷新してゆく可能性を拓きます。

(滞在制作: 2010年9月より本格始動)

※ 19日(土)公演後には、出演者とゲストが、本作の魅力について語る「ポストトーク」も開催。

また、20日(日)公演後には、気軽に立ち寄れるカフェ・スペース「アフターアワーカフェ」がオープン。

お茶を飲みながら、本作の感想を話したり、アーティストとの交流も楽しめる、作品を通じた出会いの場を提供します。

関連イベント

バックステージツアー

2011年1月30日(日)、2月6日(日) 14:00-15:00 [各日完結/全2回]

ナビゲート: 梅田宏明、YCAM教育普及スタッフ 会場: スタジオB 対象: 小学生以上(小学1~3年生は保護者同伴)

定員: 各回30名 参加無料 ※要申込

YCAMの滞在制作の様子を公開する、毎年大好評のバックステージツアー。新作ができあがる過程、そして劇場の舞台裏にある照明や音響の仕組みなどをご紹介します。

ワークショップ

講師: 梅田宏明 ※要申込

滞在制作で実験している技術を使用して、身体表現を体験するワークショップ。新作の舞台と同様の内容を実践することで、YCAMの技術開発、そしてアーティストの表現にある目的やコンセプトへの理解を促します。

ビデオダンス上映会：白井 剛 新作



白井剛「質量, slide, &。」(2004)
photo: Toshihiro Shimizu

1月22日(土)、23日(日)

会場：スタジオC 入場無料

映像がもたらす、ダンス、身体表現を追求する
YCAM第2弾となる、オリジナルビデオダンス作品の制作／発表

YCAMの技術と環境を活かし、振付家、ダンサーの白井剛によるビデオダンス作品を制作。白井の代表作の一つともいえる2004年の作品「質量, slide, &。」の映像化を通し、通常の舞台表現とは異なる視点からダンスを捉え直し、身体がもつ微細でダイナミックな動きや流れを探索します。

本上映会では、この新作映像とともに、2月公演予定の梅田宏明のビデオダンス作品、2008年にYCAMで制作した勅使川原三郎によるビデオダンス作品「Friction of Time - Perspective Study vol.2」などもご紹介します。

※ 関連イベントとして、アーティストによるトークを開催予定。

演劇公演

チェルフィッチュ 新作演劇公演



3月13日(日) 14:00 開演

会場：スタジオA

料金：前売 一般2,800円／any会員・特別割引2,500円／25歳以下2,000円 当日 3,300円 [全席自由]

チケット発売：1月8日(土)

待望の新作、YCAMに登場
「ことば」と「身体」。「リアル」の、その先を見据える。

2007年にYCAMでも開催した演劇公演「三月の5日間」で、岸田國士戯曲賞を受賞するなど、現代のパフォーミングアーツ・シーンへ大きな影響を与える劇作家・演出家の岡田利規。現代の若者を象徴するようなセリフや、日常的な所作を誇張するかのようなノイジーな身体性をもつ作品は、演劇界のみならず幅広い分野から高い評価を受けています。待望の新作となる本公演を通じ、同時代における「ことばと身体」の関係、岡田が築いてきた「リアル」な表現を超える更なる展開を考察していきます。

※ 公演後には、アーティストが、本作の魅力について語る「ポストトーク」を開催。

※ 関連イベントとして、3月6日(日)には、作・演出の岡田利規によるワークショップを開催予定。



参考写真：
チェルフィッチュ「ホットベッパー、クーラー、そしてお別れの挨拶」
(Hebbel Am Ufer, ベルリン, 2009) ©Dieter Hartwig

EDUCATION

教育普及

YCAMの教育普及では、メディアテクノロジーを用いた新しい表現について「触れたことがない」「もっと知りたい」と考えている鑑賞者に向けて、より有意義に作品を楽しめるよう、様々な企画を実施しています。アート、パフォーマンスアーツの関連イベントのほか、「メディア」「社会」「身体」というキーワードに迫るオリジナルのワークショップを開発し、YCAMの価値や創造性を体感できるイベントも開催しています。

今年度は、長期ワークショップ「meet the artist」のほか、メディア表現の広汎なテーマを身近に捉えていく新たなレクチャーシリーズを実施。さらに、オリジナルワークショップでは、YCAMで開発したツールとアーティストとのコラボレーションを展開します。

ワークショップ

ミート・ザ・アーティスト

meet the artist 2010「自分のメディアを創る」



「meet the artist 2010」講師：藤井 光

2010年4月－2011年3月（通年）

講師：藤井 光

活動エリア：YCAM内、山口市内 参加無料

1年間にわたる長期ワークショップ

山口を舞台に、映像を通じた市民同士のネットワークを創る

「コラボレーター」と呼ばれる公募で集まった市民とアーティストが、1年間にわたって1つのクリエイションをおこなうワークショップシリーズ「meet the artist」。長期的な交流を通じて、参加者とアーティストは制作のプロセスを共有し、活動における思想や背景といった深いコンセプトを共に作り上げていきます。第5回目となる今年は、社会の矛盾や政治問題、人々が抱える潜在的な想いに、映像作品とその活動を通して対峙する作家、藤井光が講師。「映像」をテーマに、ドキュメンタリー的手法を用いた「映像表現」に向き合います。パソコンや、デジタルカメラ、携帯電話をはじめとする電子機器の普及により、私たちの身近になった映像。その可能性を模索しながら、現在にこそ成立しうる映像表現を、長期ワークショップならではの活動を通して、市民とアーティストと一緒に探求していきます。

※ プロジェクト始動メンバーを、4月1日-5月1日まで募集。（それ以降も参加募集を随時受け付けています。）



参考写真：「meet the artist」これまでのイベント（2008）

関連イベント

アーティストレクチャー「自分のメディアを創る」

4月24日（土）14:00-16:00

出演：藤井 光 会場：ホワイエ 入場無料

「コラボレーター」として参加するきっかけとなるよう、講師である藤井光が、これまでの活動、そして、本ワークショップへの目的と年間の活動予定について、レクチャーをおこないます。

meet the artist 2010 制作発表

2011年3月26日（土）、27日（日）

会場：スタジオC 入場無料

1年間にわたる活動の成果を、講師とコラボレーターが紹介する発表会。どのようなイベントになるかも、ワークショップの活動のなかで、話し合いながら決定していきます。

レクチャー

「YCAMメディア・キッチン—知的好奇心を満たす連続レクチャー」



参考写真：これまでの教育普及レクチャーの様子（2008）

6月5日（土）、10月16日（土）、2011年1月22日（土）

15:30 - 17:00 [全3回]

会場：スタジオC 入場無料

多彩な領域の専門家がYCAMに集合！

メディア表現と日常との関係を読み解くレクチャーシリーズ

様々な領域の専門家を講師に、私たちの日常とメディア表現との関係を考えるレクチャー。YCAMが掲げる「アート/メディア/身体表現の新領域」に含まれるテーマを、身近な話題として解説しながら、メディア表現の可能性と展望について考えていきます。YCAMと鑑賞者をつなぐメディア、そして新しいアイデアを生む場所、キッチン。3回のレクチャーを通じ、作品をより楽しく鑑賞するポイントを発見できます。

夏休み YCAM 探検クルーズ



参考写真: これまでのYCAMツアー (2007)

2010年8月13日(金)、14日(土) 14:00 - 15:30 [各日完結 / 全2回]

講師: YCAM教育普及スタッフ

会場: YCAM館内 対象: 小学生以上 (小学1~3年生は保護者同伴) 定員: 各回45名 参加無料 ※要申込

制作 / 発信を特徴とするYCAMの全貌を見る
現場に触れて、アートセンターの未来を感じる

YCAMの施設の舞台裏、そして展覧会や舞台公演をつくるスタッフの仕事を見学する、夏休み特別企画。普段は見る事ができない、アートセンターにおける制作の現場や、音響や照明の専門スタッフの解説に触れながら、未来の鑑賞者を育成するとともに、YCAMの目的や役割についても紹介します。

サラウンド・ガーデン

「surround garden — 響きあう音とカラダ」



8月21日(土) 14:00 - 17:00、
22日(日) 14:00 - 17:50 [2日間通し]

講師: 白井剛

会場: スタジオA 対象: 小学3年生以上 定員: 15名 料金: 500円 ※要申込

音に耳を澄ませ、身体を動かす体験
白井剛を講師に向かえた、音とダンスのワークショップ

ウォーキング・アラウンド・サラウンド

YCAMが開発 / 実施しているオリジナルワークショップの一つ「walking around surround」を用い、振付家・ダンサーの白井剛とともに身体表現を体験する企画。音が放たれ、隅々まで広がり、私たちの身体へと届くイメージを想像しながら、身体を動かしてみる…。音の仕組みを理解し、そこにある身体の変化や動きを実践することで、音響表現と身体表現の関係を探求します。YCAMをはじめ、国内外でも第一線で活躍し、NHKの教育番組で放映された「ワニバレエ」で子どもたちにも馴染みの白井剛を講師にむかえた、夏休み特別企画です。

※ 22日(日)には、参加者による発表と、講師によるデモンストレーションも開催。
一般の方も見学できます。(17:00-17:50)



参考写真: ワークショップ「walking around surround」(2008)

ワークショップ / レクチャー 申込方法

はがき、FAX、e-mailにて、参加ご希望のワークショップ / レクチャー名をご記入のうえ、住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日(保険適用のため)、電話番号、e-mail等連絡先とともに、下記までお申し込みください。

〒753-0075 山口市中園町7-7 山口情報芸術センター [YCAM]

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 e-mail: workshop10@ycam.jp

チケットのお求め (any会員、一般とも共通)

山口市文化振興財団チケットインフォメーション (YCAM内)

TEL: 083-920-6111 (10:00-19:00 火曜休館・祝日の場合は翌日)

http://www.ycfcp.or.jp/ (24時間受付、要事前登録)

[特別割引] 青少年(18歳未満)、シニア(65歳以上)と障がい者および同行の介護者1名の方には、公演や映画の入場券の割引があります。チケットの購入やお申し込みの際は、割引の旨をお知らせください。

CINEMA

シネマ



YCAMでは、多彩で豊かな映画芸術、映像文化に幅広く触れていただけるよう、様々なジャンルや地域の映画、映像作品を上映しています。山口で上映される機会の少ない作品を中心にセレクトし、より深い洞察や理解を促すための特集上映やゲストを招いた関連イベントなども開催しています。

上映シリーズ

■ 特集上映

作家やテーマ別、YCAMで開催するアート展示や公演に関連した作品、文化庁推薦作品、未公開作品などを、独自のラインナップで特集するシリーズ。監督や評論家を招いたゲストトークを開催したり、1〜2カ月にわたり、長期的な特集もおこなっています。

セレクト・シネ・テクトニクス

■ Select CINE TECTONICS

芸術史およびメディア史の視点から、芸術作品としての映画のあり方を紹介するシリーズ。作家やテーマ別に、文化や時代を踏まえた意義深い作品をセレクト。世界の様々な地域の古典から新作まで、映画にある表現の多様性に出会うことができます。

■ コミュニティシネマ

クラシック映画、ミニシアター系の作品、ドキュメンタリーといった新旧の多彩な作品を紹介するシリーズ。観客のリクエストも受け付けるなど、世代を問わず、幅広い人々に親しまれています。

2010年度の上映予定



「真夏の夜の星空上映会」(2008)

特集上映 「村川 透 監督特集」

「蘇える金狼」や「野獣死すべし」などのアクション映画や松田優作主演映画、テレビ「西部警察」「あぶない刑事」などの大ヒットドラマを手がけている村川透監督の映画15作品を一挙上映します。

イベント 「真夏の夜の星空上映会」

毎年大好評の野外上映会。涼しくなった夏の夕暮れに輝く星空のもと、芝生に座って映画を楽しむイベントです。幅広い世代、そして家族そろって気軽にお楽しみいただけるプログラムで、今年度は、8月に4回の開催を予定しています。

イベント 「全国コミュニティシネマ会議2010 in 山口」

「映画を見せること」をおこなっている方々の情報交換と研究討議の場として、1996年から毎年開催されている「全国コミュニティシネマ会議」。15回目となる今年の開催地は、YCAM。シンポジウムや発表、基調講演、映画上映などがおこなわれます。

特集上映 「文化庁優秀映画鑑賞推進事業」

東京国立近代美術館フィルムセンターが所蔵する日本映画のフィルムの中から、厳選された名作映画を4本上映。毎年開催しているこのプログラムには、いつも多くの来場者が訪れ、人気を博しています。

特集上映 「シネマテークプロジェクト」

映画上映の専門設備をもち、映画史的、批評的な上映をおこなっている文化施設が連携して実施するプロジェクト。上映の機会が少なく、かつ映画史のうえで、重要な作品を巡回上映します。本年度は「ポルトガル映画祭2010」として、個性溢れる作品を上映します。

2010年度 巡回展示・公演情報

YCAMでは、既存の優れた作品を紹介するだけでなく、滞在制作を実施し、オリジナル作品を制作、公開しています。様々なアーティストが、異なるジャンルのアーティストやエンジニアとコラボレーションをおこない、YCAMと共同で生み出す作品は国際的に高い評価を得るとともに、世界各地で招聘展示・公演されています。 ※ 巡回展示・公演についての情報は、YCAMのwebサイトにて随時お伝えいたします。

アート



「LIFE - fluid, invisible, inaudible ...」(YCAM, 2007)

坂本龍一+高谷史郎

「LIFE - fluid, invisible, inaudible ...」(2007、YCAM 委嘱作品)

<http://rsst.ycam.jp/>

話題のYCAMオリジナル作品、3年を経た今年、ついにヨーロッパでの展示が決定。

2010年3月3日- 5月2日 「DigitaLife」 La Pelanda (ローマ、イタリア)



「Corpora in Si(gh)te」(YCAM, 2007)

dounleNegatives Architecture

「Corpora in Si(gh)te」(2007、YCAM 委嘱作品)

<http://corpora.hu/>

2007年山口での発表後、イタリア、ドイツ、オーストリアへ巡回。成長を続ける建築プロジェクト。

2010年3月17日- 5月11日 「Dynamic (in)position. Ars Electronica in Mexico」

Laboratorio Arte Alameda (INBA, National Fine Arts Institute)
(メキシコ)

パフォーミングアーツ



「true / 本当のこと」(YCAM, 2007)

藤本隆行×白井 剛×川口隆夫×南 琢也×真鍋大度×堀井哲史×齋藤精一×石橋 素×照岡正樹×北村教子
「true / 本当のこと」(2007、YCAM 委嘱作品)

<http://www.true.gr.jp/>

YCAM初演以来、世界6ヶ国で上演されてきた人気作品。今年はアジアツアーが決定。

2010年6月5日 Macao Cultural Centre (マカオ、中国)

6月18日- 20日 Studio Theatre, Hong Kong Cultural Centre (香港)

※ 作品の詳細は、webサイト「YCAM ACTIVITIES」に掲載しております。作品の内容やアーティストの紹介、作品に使用している技術解説等を随時更新しておりますので、ぜひ、ご覧ください。 <http://archive.ycam.jp/>



山口情報芸術センター

Yamaguchi Center for Arts and Media

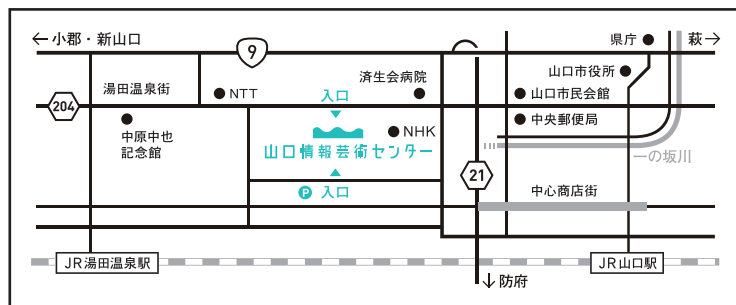
[開館時間] 10:00-20:00 (夜間イベントのある日は22時まで開館)

[休館日] 火曜日(祝日の場合は翌日) / 年末年始(12/29-1/3)

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7

TEL:083-901-2222 FAX:083-901-2216

e-mail:information@ycam.jp <http://www.ycam.jp/>



YCAM までのアクセス



山口宇部空港まで
・東京から1時間30分

→ 山口宇部空港から
・空港連絡バスでJR新山口駅まで 20分
・乗合タクシー「空港エクスプレス」で約1時間
(前日18:00までの予約制 大隈タクシー Tel: 0120-31-0860)



JR新山口駅まで(新幹線のぞみ利用)
・東京から約4時間50分
・新大阪から約2時間10分
・広島から約35分
・博多から約40分

→ JR新山口駅から
・防長バス/JRバス 約30分、中国町下車すぐ
・JR山口線、湯田温泉駅下車(18分)のち
徒歩25分/タクシー 5分
・JR山口駅、山口駅下車(21分)のち
徒歩25分/バス10分/タクシー 5分



広島から 山陽自動車道で約1時間30分、防府東ICから30分
福岡から 九州・中国自動車道で約2時間、小郡ICから25分